

2022 年度 修士学位審査請求論文

非意図的な出来事を表す他動詞表現と責任意識
—日本語と中国語との対照研究—

LIN Xiaoming

7213200003-5

立命館大学大学院言語教育情報研究科

2022 年度

要旨

日本語母語話者と中国語母語話者は非意図的な出来事を描写する際にどのように事態を認識し、どのような動詞と構文を使うのかを対照研究によって明らかにすることが本研究の目的である。責任に関する意識調査によって、日本語母語話者による責任意識の評定値は中国語母語話者より高いことがわかった。出来事の説明記述を調査した結果、責任を強く感じるときに結果事象への言及率が上がる傾向が中国語母語話者にあることがわかった。日本語母語話者は言語化する際に、結果より出来事の経緯に焦点を当てる。責任を強く感じる非意図的な出来事の描写で一人称動作主他動詞の使用頻度が高くなる点で日本語母語話者と中国語母語話者に共通性が見られる。

キーワード：他動詞表現、自動詞表現、事態認識、語用論

目次

1. はじめに	1
2. 先行研究	1
2.1 日本語における自他対応.....	1
2.2 中国語における自他対応.....	3
2.3 日本語における非意図的な他動詞文の成立条件.....	4
2.4 語用論の観点から見る非意図的な他動詞文使用.....	6
2.5 各言語における他動詞使用と責任意識に関する対照研究.....	7
2.6 先行研究で残された課題.....	8
3. 研究課題	8
4. 調査	9
4.1 調査方法.....	9
4.2 アンケート作成.....	9
4.3 コーディング方法.....	11
5. 中国語母語話者と日本語母語話者の調査結果.....	13
5.1 責任意識.....	13
5.2 各事象への説明記述.....	17
5.3 一人称動作主他動詞の使用頻度と責任意識との関連性.....	20
6. おわりに	27
参照文献	28
謝辞	30
付録	31

Abbreviations

1	first person
2	second person
PFV	perfective
SFP	sentence-final particle
SG	singular

1. はじめに

Hopper and Thompson (1980)が提唱する他動性のパラメーターは10あり、その中には意図性が含まれている。非意図的他動詞文は意図性が欠落している点で他動性プロトタイプから逸脱する文型である。日本語ではなぜこのような文が他動詞文として成立できるのかという理由に関しては、「責任」の観点から文法構造を説明する議論が盛んである(中右 1998、天野 2002)。しかし、実際に話者はどのぐらいの責任を感じるか、どのように発話するかを明らかにするには実験によって確認する必要がある。西光 (2010) は、言語表現の傾向と原因帰属の傾向との相関は追求すべき課題であると述べている。語用論の面から、「他動詞使用と責任意識との関連に関して通言語的にどのような傾向があるか」を論証する研究も必要である。

非意図的な他動詞文と責任意識にかかわる先行研究のほとんどが、日本語を中心とする対照分析である。しかし、日本語と中国語との対照研究の視点から非意図的な他動詞文と責任意識の関係をとり上げる研究はまだ少ない。日本語母語話者と中国語母語話者が非意図的な出来事を描写するとき、どのように事態を認識するのか、どのような動詞と構文を使うのかを対照研究によって明らかにすることが本研究の目的である。

本研究の構成は次の通りである。第2章は先行研究の紹介である。第3章は研究課題の設定である。第4章では研究課題を解決するための調査方法を紹介する。第5章は調査結果と分析である。第6章で議論をまとめる。

2. 先行研究

この章は三つの部分で構成される。他動詞使用と責任意識に関する先行研究を概観する前に、責任意識の強弱によって他動詞を使うかどうかを選択する際に他動詞以外にどのような述語の選択肢があるかが問題になるので、2.1節と2.2節で日本語と中国語の自他対応についての先行研究を紹介する。次に、2.3節から2.5節では他動詞文と責任意識との関わりに関する先行研究を紹介する。最後の2.6節では、先行研究で残された課題を取り上げる。

2.1 日本語における自他対応

本研究は同じ出来事を表すのにどのような場合に自動詞を用いどのような場合に他動詞を用いるのか、特に他動詞使用と責任意識との関わりが言語一般に見られるものなのかを明らかにすることを目的としている。

同じ出来事を表すのに用いられる自動詞と他動詞の対は自他動詞対と呼ばれる。自動詞の主語と他動詞の目的語が対応する自他動詞対には使役、逆使役、両極、自他同形、補充法

の5つのパターンがあることを Haspelmath (1993)は指摘している。このうち、補充法を除くパターンでは、自動詞と他動詞が語根を共有する。日本語にも語根を共有する自他動詞対があり、本研究の目的と照らし合わせて、このような自他動詞対は話者の表現の選択にとって重要である。

奥津(1967)は、自他動詞対には(1)に示す統語的な対応関係があるという。すなわち、他動詞文(1a)の主語「私」に対応する要素が自動詞文(1b)にはなく、(1a)の目的語「着物」が(1b)の主語に対応し、(1a)と(1b)は意味的に同一性を持つ。そして、「乾く」と「乾かす」は語根/kawak-/を共有し、形態的な対応関係がある。

- (1) a. 私は 洋服 を 乾かした。
b. 洋服 が 乾いた。

早津(1987)は、(1)のような形態的、意味的、統語的な対応関係がある動詞を「有対自動詞」、「有対他動詞」と呼んだ。(2)の「死ぬ」と「殺す」は、意味的・統語的には対応関係があるが、形態的対応関係が欠けている。そして、(3)の「受かる」と「受ける」は、形態的な対応関係があるが、統語的な対応関係が成り立たない。このような動詞をそれぞれ「無対自動詞」、「無対他動詞」と呼ぶ。

- (2) a. 花子は 太郎を 殺した。
b. 太郎が 死んだ。
(3) a. 生徒は 試験を 受ける。
b.* 試験が 受かる。

(4)に佐藤(2005: 170)から引用するかたちで自他対応が成立する意味的、形態的、統語的条件をまとめる。本研究では、(4)に示す形態、意味、統語の三つの条件をすべて満たす語彙的な対応を自他対応と見なす。

(4) 自他対応の定義:

- a. 意味的条件: 自動詞文と他動詞文が同一の事態の側面を叙述していると解釈可能である。
- b. 形態的条件: 自動詞と他動詞が同一の語根を共有している。
- c. 統語的条件: 自動詞文のガ格と他動詞文のヲ格が同一の名詞句で対応している。

(佐藤 2005: 170)

佐藤 (2005) は、動作主による動作過程の様態指定と対象の結果性の二つの面から有対他動詞の意味構造を分析している。有対他動詞の意味構造は、動作主による動作の過程を含んでいるが、実際にどのような動きで結果を達成するのかが指定されていない。そして、結果事態の達成は、有対他動詞成立の必要条件と述べている。有対他動詞の意味構造は次の図式にまとめることができる。

(5) 有対他動詞の意味構造

[AGENT:_____] (動作様態の透明性) + [THEME:ACHIEVEMENT] (結果事態の達成)
(佐藤 2005: 180)

2.2 中国語における自他対応

中国語は孤立語であり、日本語のような語形変化が生じず、語順で意味を解釈する。では、中国語では自他対応をどのように実現するのか。望月 (2003) は、中国語では使役交替を起こす動詞の大部分において他動詞が [Action+Resultative] というスキーマを持つ複合動詞でなければならないという特徴があることを指摘した。例えば、(6a)の形容詞または自動詞「坏」の前に Action を抽象的に表す軽動詞の「弄」を付加することで、(6b)の他動詞「弄坏」を生産的に作ることができる。

- (6) a. 电脑 坏 了。
 パソコン 壊れる PFV
 「パソコンが壊れた。」
- b. 他 弄坏 了 电脑。
 彼 壊す PFV パソコン
 「彼がパソコンを壊した。」

(6)の自他対応は他動詞が形態的に有標であるため使役形の対応と見なすことができる。自動詞の前に配置されて他動詞を派生する要素は(6)で用いられている「弄」だけではない。中国語の自他対応に関する研究である申 (2009) は、(7a)に示す状態を表す形容詞または非対格動詞に(7b)に示す行為動詞を前接することにより(7c)の他動詞を派生できることを指摘している。

- (7) a. 状态 [y BE AT-z]

断（切れている状態）、碎（粉々になっている状態）、破（割れている状態）

b. 活動 [x ACT ON-y]

剪・切・割（切る）

c. [原因事象＋結果事象]の合成による状態変化使役他動詞への語形成

[x ACT ON-y] CAUSE [(y) BECOME [y BE AT-z]]

剪断（ハサミで切る）、切碎（ナイフで切る）、割破（切り取る）

（申 2009: 156 一部変更）

中国語では単音節動詞に自他同形が少ない。一方、複合動詞に自他同形が非常に多い。例えば、(8)で示すように、日本語の漢語動詞「出版する」は他動詞用法しかないのに対して、中国語の対応する複合動詞「出版」は自他両用である（望月 2003: 237）。申（2009）は、中国語の「動詞＋動詞」からなる二音節複合動詞が日本語の自動詞と他動詞の両方に対応することがあると述べている。表1で示すように、中国語の「提高」は、日本語の「上げる・上がる」に対応する。

(8) a. 研究社出版 终于 出版 了 那本 论文集。

研究社 やっと 出版する PFV あの 論文集

「研究社出版はやっとあの論文集を出版した。」

b. 那本 论文集 终于 出版 了。

あの 論文集 やっと 出版される PFV

「あの論文集がやっと出版された。」

（望月 2003: 237）

表 1. 中国語の二音節複合動詞と対応する日本語の自他動詞

中国語の二音節複合動詞	日本語の自他動詞
提高	上げる/上がる
改变	変える/変わる
开始	始める/始まる

（申 2009: 155 一部参照）

2.3 日本語における非意図的な他動詞文の成立条件

この節は、日本語における非意図的な他動詞文の成立条件にかかわる先行研究を紹介する。

中右・西村（1998）は、使役行為プロトタイプを(9)のように定義している。

(9) 使役行為プロトタイプ：

W（主語）が意図的に遂行する行為Xの直接の結果として、Y（目的語）に（含意される）変化Zが生じる。

（中右・西村 1998: 163）

(9)の使役行為プロトタイプでは、意味役割が動作主である主語が対象の目的語に変化を生じさせるための行為をしたことにより、目的語に変化が生じている。そして、その変化を生じさせた「責任」は動作主が負うと中右・西村（1998）は述べている。例えば、(10)は、花子がナイフで刺す行為により、「太郎が死んだ」という結果が生じたことを表している。主語の「花子」は、この結果を生じさせた責任を負う。

(10) 花子は 太郎を 殺した。(=(2a))

次の(11)は非意図的出来事を表す文である。主語が事態の引き起こし手である。主語のある行為で目的語に変化が起きたため、主語は事態の結果に対する「責任」の主体と見なされる。これは(9)の使役行為プロトタイプと共通点を持つところである。ただし、動作主の意図に反することを表しており、非意図的である点でこれらの例文はプロトタイプの(9)から逸脱する文と言える。

(11) a. 太郎は友達とキャッチボールをしていて窓を壊した。

b. 花子はりんごの皮を剥いていて指を切った。

（中右・西村 1998: 162）

そして、(12)は、形式的には他動詞文であるが、主語が動作の直接の引き起こし手ではない文である。これらの文では目的語の状態変化を表す動詞が用いられている。天野（1987, 2002）は、(12)のような他動詞文を「状態変化主体の他動詞文」と呼ぶ。実現する条件を(13)にまとめる。

(12) a. 私たちは、空襲で家財道具をみんな焼いてしまった。

b. 勇二は教師に殴られて前歯を折った。

c. 気の毒にも、田中さんは昨日の台風で屋根を飛ばしたそうだ。

（天野 1987: 107）

(13) 条件

- a. 述語の他動詞が主体の動きと客体の変化の両方の意味を表し、主体の意志性を無化することが可能な他動詞である。
- b. 事態の直接の引き起こし手を言語的に明示することが可能である。
- c. 状態変化主体の他動詞文のガ格名詞とヲ格名詞は、全体部分の関係にある。

(天野 2002: 117)

西光 (2010) は、主観性の高い言語と言われる日本語の場合、管理下にあるものに統制不可能な出来事が起こったとき、何とかできたのではないかと話者が責任を感じることもありうると指摘している。状態変化主体の他動詞文は天野 (1987, 2002) が提唱している(13c)の条件から見れば管理責任を表す他動詞文であると西光 (2010) は述べている。

以上の先行研究をまとめると、日本語における非意図的な他動詞文は主語の意味役割が動作主であるか否かによって二つのタイプに分類できる。タイプ1は、非意図的な他動詞文の主語が事態の引き起こし手となるものである。この場合、目的語に変化を生じさせた責任を動作主である主語が負う。タイプ2は、主語が事態を直接起こした動作主ではない場合である。(12)のような文が他動詞文として成立するのは、主語と目的語が全体と部分の関係にあるため、第三者の影響によって目的語に生じた変化の管理責任を主語が負うという(13c)の条件を満たすからである。日本語における非意図的な他動詞文の成立条件は主語に責任が含まれることと深くかかわっていることがわかる。

2.4 語用論の観点から見る非意図的な他動詞文使用

2.3 節では、日本語の非意図的な他動詞文の成立条件を責任意識に着目して、説明する分析を紹介した。しかし、話者が実際にどのようなことにどのように責任を感じて他動詞文なり自動詞文なりを発話するかはまだ明らかになっていない。次に、語用論の観点から非意図的な他動詞文の使用について説明している先行研究を紹介する。

水谷 (1979) は、日本語母語話者は借りて故障したものを返すとき、たとえ故障の原因も自分の責任の有無も不明であったとしても、他動詞表現を選択する傾向があると述べている。自動詞表現と他動詞表現は文法的な違いに過ぎないが、どちらを選択するかで物と人の関係の中で相手に対する自分の態度を明確に表すことになる (p. 145)。つまり、相手に属するものを借り受けているという関係の中で、他動詞表現を用いて何か損害に対して自分には責任があると表明するわけである。

Hinds (1986) は、日本語では、コントロールできない事態で生じた責任だとしても、その原因を自分自身に帰属させるのに対し、英語ではあらゆる自分が引き起こし手ではない

ことの責任を回避する傾向があると述べている。どの言語の話者であっても、非意図的な行為に対する責任意識を持っているわけである。その責任意識を言語表現に含めて表現するかどうかは、言語によって異なることが明らかになっている。そして、責任意識が他動詞文表現の使用を動機づける現象は、日本語の言語文化の特徴であると主張している。

2.5 各言語における他動詞使用と責任意識に関する対照研究

2.4 節では、日常会話において望ましくない事態が起こったとき、日本語母語話者は責任意識を言語表現に反映させ、他動詞表現を選択する言語的特徴があるという先行研究の指摘を紹介した。しかし、本当にそうなるかを検証する必要がある。次に紹介する吉成・パルデシ・鄭（2010）と吉成・江口（2020）は意図性と他動詞使用の関係において、通言語的に見られる現象に関する先行研究である。日本語を中心に、ほかの言語との比較を通じて、責任意識と他動詞表現との関連性が日本語の特徴であるか否かを検証している。

表 2 は、吉成・江口（2020）から引用した事象連鎖の言語表現を図式化したものである。コーヒーが入っているコップの転倒（原因事象 1）とコーヒーの流出（原因事象 2）の結果、本にシミがつく（結果事象）という一連の事象連鎖である。非意図的な原因条件としては、本人の不注意やめまい、あるいは自然現象などが挙げられる。

表 2. 非意図的な原因によって引き起こされる事象連鎖の例

非意図的な原因条件	原因事象 1	原因事象 2	結果事象
自分の不注意 めまい 地震	コップの転倒	コーヒーの流出	本の汚れの発生

（吉成・江口 2020: 147）

吉成他（2010）は日本語、韓国語、マラーティー語を対象言語にして、非意図的な出来事における他動詞使用と責任意識との関連性が言語ごとにどのように異なるかを考察している。吉成他（2010）では、他動詞使用と責任意識の関連性を調べるために、事態を引き起こした原因条件を四つに分けて、そのうちの一つによって相手の物に損害を与えてしまうシナリオを被験者に読んでもらって、友達にどう説明するのかを想像しながら自由記述欄に書かせる調査を行った。また、シナリオからどのぐらいの責任を感じるか、事態を避けることができるかどうかという責任意識と回避可能性に関する意識調査を行っている。

また、吉成他（2010）をベースとした吉成・江口（2020）は研究を発展させ、日本語とハンガリー語を対象言語にして、非意図的な原因により望ましくない、一連の因果関係がある

事象連鎖を説明する際に話し手がどのような言語表現をするかを明らかにするために、特に話者に言及される事象の種類と他動詞使用に注目して調査している。以上紹介した先行研究の結論は次のようにまとめることができる。

まず、非意図的な事態に対する責任意識の程度は、事態を引き起こした原因条件によって差がある。話者の事態に対する責任意識は、原因条件という要因に左右されることが明らかになった。そして、その差には言語によって異なる傾向が見られる。責任意識が高ければ、回避可能性も高くなるという正の相関が見られた。しかし、事態に対する責任意識が高ければ、その描写に他動詞表現が用いられるという傾向は必ずしも言語一般のものではない。日本語でそのような傾向があるとは Hinds (1986) の主張を支持すると言えよう。事象連鎖を描写する場合、どの下位事象に言及するか、どのような言語表現を用いられるかは、言語によって異なる場合がある。

2.6 先行研究で残された課題

2.5 節で取り上げた先行研究には次の問題点がある。まず、吉成他 (2010) と吉成・江口 (2020) は、調査用のシナリオの設定が一つだけで、得られたデータに普遍性があるとはいえない。そして、吉成他 (2010) の実験では、被験者である母語話者は一つのみの原因条件が設定された調査票に答えている。ほかの原因を設定した調査票に答えていないため、それぞれの母語話者が原因によってどのように言語表現を変えるかはまだ明らかになっていない。さらに、事態を引き起こした原因条件以外に、損害を被ったものの属性も責任意識の判断に影響を与える可能性がある。よって、吉成他 (2010) と吉成・江口 (2020) の実験を基にして、質問紙を改良して再実験する価値があると思われる。

3. 研究課題

非意図的な出来事を表すために他動詞を使用することと責任意識の関係については、日本語とほかの言語との対照研究が複数存在する。しかし、この問題に関する日本語と中国語との対照研究はまだ少ない。本研究では次の二つの問題を考察したい。

- ① 非意図的な出来事を表す他動詞表現と責任意識との関連に関して、日本語母語話者と中国語母語話者にはそれぞれどのような傾向があるか。
- ② 事象連鎖を描写するとき、日本語母語話者と中国語母語話者に言及される事象はどのような差異があるのか。また、事象への言及は、どのような要因に影響されるか。

以上の二つの研究課題を追求するための調査について第 4 章で解説する。

4. 調査

4.1 調査方法

中国のウェブアンケートサイト「問巻星 (<https://www.wjx.cn>)」にアンケートを設置し、WeChat、LINE、メールに URL を貼り付けて調査協力者を募集した。本研究の調査対象は、年代によって異なる結果が生じる可能性があることから、20 代の中国語母語話者と日本語母語話者に限定した。

アンケートの質問にすべて回答しており、自由記述欄に意味がある答えを書いている場合は有効回答と判断する。例えば、「友達に、理由を述べながら説明してください」という質問に対して、自由記述欄に「。」と答えた場合は無効と判断する。

回収したアンケートが 51 部あった。中国語母語話者のアンケート 39 部中 25 部が有効回答であった。日本語母語話者の 12 部はすべて有効と判断した。

4.2 アンケート作成

質問は、自由記述と選択式の二つパターンに分けた。シナリオと原因条件、そして事象の分け方は吉成他 (2010)、吉成・江口 (2020) に基づいて設定した。記述の部分は、ある原因で友達の物品に損害を与えてしまい、相手にこの事態をどのように説明するのかを自由に書いてもらうことにした。場面の提示は自動詞のみを用いた。他動詞が使用されている場合は、被験者が自動詞を他動詞に変換していることを意味する。他動詞主語の意味役割が動作主であるとき、主語の人称を一人称、三人称、無生物の三つに区別する。責任に関する意識調査では、七段階の尺度を用い、話者が感じる責任意識が強ければ強いほど高い数値を選択してもらうかたちにした。

また、損害を被ったものが元に戻るかどうか、価値が高いかどうかという要素も実験に影響する要因の一つと考えられるので、損害を被ったものを属性によって以下の四つに分類している。

- ①復元できる・安い：「友達のペンケースにコーヒーのシミをつける」
- ②復元できる・高い：「駐輪場で友達の自転車に傷をつける」
- ③復元できない・安い：「運動場で友達の瓶を割る」
- ④復元できない・高い：「バスで友達の限定盤の CD を割る」

さらに、出来事を引き起こす原因条件として原因の所在（内的、外的）と統制可能性（統制可能、統制不可能）を組み合わせる四パターンを設ける。四つのシナリオと四つの原因条件を組み合わせ、計 16 パターンがある（表 3 に参照）。

表3. アンケートに用いられたシナリオと設定された条件

シナリオ1：友達にとって大切なものではない、シミは拭き取れる。
カフェで、あなたは友達と一緒に勉強しています。コーヒーを飲みながら本を読んでいた。急に電話があり、友達は席を外しました。あなたがコップを取ろうとした時、 <u>自分の不注意で、コップに手が当たり、</u> コーヒーがこぼれて、コーヒーが友達のペンケースにかかって、ペンケースに染みが付いてしまいました。
言及可能な事象 原因事象1：コーヒーの流出 原因事象2：ペンケースにかかる 結果事象：汚れの発生
原因条件（下線部） 1.内的×統制可能：自分の不注意で、コップに手が当たり、 2.内的×統制不可能：めまいがして、コップに手が当たり、 3.外的×統制可能： 隣の人の手がコップに当たって、 4.外的×統制不可能：強い風が吹いて、コップが倒れて、
シナリオ2：貴重品であり、傷は補修できる。
スーパーの駐輪場がほぼ満車状態で、あなたは友達から借りた自転車をほかの自転車と並べて停めていました。帰る時、 <u>自分の不注意で、</u> 友達の自転車が倒れて、隣に止めてあったバイクにぶつかってしまって、友達の自転車に傷がつきました。
言及可能な事象 原因事象1：自転車の転倒 原因事象2：バイクとの摩擦 結果事象：傷が出る
原因条件（下線部） 1.内的×統制可能：自分の不注意で、 2.内的×統制不可能：自転車に乗ろうとしたら、急に体の調子が悪くなって、 3.外的×統制可能：隣の自転車の持ち主が自転車を取り出そうとしたために、 4.外的×統制不可能：自転車に乗ろうとしたら、台風による強い風が吹いて、
シナリオ3：飲み終われば捨てるもの、復元できない。
友達が野球の試合に出ている間、あなたは友達の荷物を預かっていました。 <u>席から立ち上がった時、自分の不注意で、</u> 友達の荷物が倒れて、荷物の中にあった炭酸飲料のガラス瓶が地面に落ちて、割れてしまいました。
言及可能な事象

原因事象 1 : 荷物の転倒 原因事象 2 : 飲料の転落 結果事象 : 瓶の破損
原因条件 (下線部) 1.内的×統制可能 : 席から立ち上がった時、自分の不注意で、 2.内的×統制不可能 : 席から立ち上がる時、急にめまいがして、体が荷物に当たったために、 3.外的×統制可能 : そばを通りかかった人の体が荷物に当たって、 4.外的×統制不可能 : よくわからない原因で、荷物のバランスを失って倒れて、
シナリオ 4 : 友達にとって大切なもの、復元できない。
バスで移動中に、友人から預かった絶版になっている CD を入れた鞆を荷台に置きました。 <u>鞆の中から携帯電話を取ろうとした際に、自分の不注意で、かばんの口が大きく開いて、CD がかばんの中から落ちて、ケースが割れてしまいました。</u>
言及可能な事象 原因事象 1 : 鞆の口が開く 原因事象 2 : CD の転落 結果事象 : CD の破損
原因条件 (下線部) 1.内的×統制可能 : 鞆の中から携帯電話を取ろうとした際に、自分の不注意で、 2.内的×統制不可能 : 急にめまいでふらついて体が鞆に当たったために、 3.外的×統制可能 : 車内が混んでいて、降りようとした人が鞆にぶつかったために、 4.外的×統制不可能 : バスが急に揺れて、

4.3 コーディング方法

自由記述欄に用いられた動詞を自動詞・他動詞のいずれかに分類することにする。日本語と中国語における自他動詞の分け方は 2.1 節に示した自他の定義に従う。中国語では、形態は同じで自動詞にも他動詞にも使える自他同形の動詞があるため、動詞の後ろに直接目的語を取るのが他動詞、取らないのが自動詞と見なす。また、中国語ではすぐ後ろに直接目的語をとる他動詞が一般的であるが、動詞の後ろに来るべき目的語を前に置く構造を持つ「把 (ba)」構文も存在する。なお、「把 (ba)」構文に用いられる動詞は、他動詞のみである。

以下にコーディング例を示す。(14)から(16)は中国語母語話者の回答から抽出した例文である。そのうち、下線を引いた結果事象である「CD の破損」について記述した部分だけを見ると、(14)は自動詞文、(15)は「把 (ba)」構文、(16)は他動詞文である。例文の中で用

いられた動詞は同じ形態を持つ二音節動詞「摔坏（壊す）」であるが、コーディングにおいて、目的語の有無により(14)の話者は自動詞、(15)と(16)の話者は他動詞を用いたと見なす。

- (14) 我 在 公交车 上 突然 头晕, 从 包 里
1SG で バス で 突然 めまい から カバン 中
拿 手机 不小心 把 你 CD 稿掉 出来,
取る 携帯 うっかり ~を~する 2SG CD 落とす 出る
摔坏 了。

壊れる PFV

「私はバスに乗っているとき、カバンの中から携帯を取ろうとしたら、突然めまいがして、うっかりあなたのCDを落として、壊れちゃった。」

- (15) 对不起, 我 下 车 的 时候 太 挤 了,
ごめん 1SG 降りる バス の 時 とても 混雑する SFP
不小心 把 你 的 CD 摔坏 了。

うっかり ~を~する 2SG の CD 壊す PFV

「ごめん、バスを降りるときすごく混んでいて、うっかりあなたのCDを壊しちゃった。」

- (16) 对不起, 坐 车 的 时候 人 太 挤 了,
ごめん 乗る バス の 時 人 とても 混雑する SFP
結果 把 包 挤开 了, 摔坏 了 你 的 CD。

結果 ~を~する カバン 開ける PFV 壊す PFV 2SG の CD

「ごめん、バスに乗るときすごく混んでいて、カバンが開いて、あなたのCDを壊しちゃった。」

他動詞を用いた場合、意味役割が動作主の主語の人称を一人称、三人称、無生物の三つに区別する。事態の引き起こし手が自分自身であることを表現する場合は一人称動作主他動詞とする。動作主が他人（第三者）の場合が三人称動作主他動詞文とする。動作主が自然現象である場合が無生物動作主他動詞文とする。日本語の日常会話で、(17a)の無生物動作主他動詞文を用いるのは不自然であるのに対して、(17b)の中国語で無生物主語が他動詞文で用いられることは自然である。

- (17) a. *風はあなたのコップを倒した。

b. 風 吹倒 了 你 的 杯子。

風 倒す PFV 2SG の コップ

また、動作主である主語が省略されている場合は、日本語においても、中国語においても、文脈によって動作主の種類を判断する。(18)と(19)はシナリオ1の原因条件1から抽出した中国語母語話者による例文である。(20)は日本語母語話者による例文である。(19)と(20)は主語の「我(私)」を省略しているが、両者共に原因条件1「自分のミス」での回答のため、一人称動作主他動詞とコーディングする。

(18) 我 把 你 笔盒 弄脏 了。

1SG ~を~する 2SG ペンケース 汚す PFV

「あなたのペンケースを汚しちゃった。」

(19) 抱歉, 刚刚 不小心 碰洒 咖啡,

ごめん さっき うっかり こぼす コーヒー

弄脏 了 你 的 笔盒。

汚す PFV 2SG の ペンケース

「ごめん、さっき不注意でコーヒーをこぼして、あなたのペンケースを汚しちゃった。」

(20) コーヒーを飲もうとしたら、コップ倒しちゃってペンケース汚しちゃった。ごめん。

以上のコーディング方法に従い、中国語母語話者と日本語母語話者による各事象で用いられた動詞の使用頻度について調査した結果を5.3節に示す。

5. 中国語母語話者と日本語母語話者の調査結果

5.1 責任意識

図1は中国語母語話者によるシナリオ別原因条件ごとの責任意識平均値である。表4はシナリオ別原因条件ごとの責任意識平均値の一元配置分散分析を行った結果である。四つの原因条件で有意に差がみられた ($p < .001$)。

表 4. 中国語母語話者によるシナリオ別原因条件ごとの責任意識平均値の有意検定(n=25)

	原因条件 1	原因条件 2	原因条件 3	原因条件 4	検定	
	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	F(3, 96)	p
シナリオ 1	6.08 (1.26)	5.56(1.42)	3.12(1.54)	2.44(1.69)	36.46	p<.001
シナリオ 2	6.52 (0.92)	5.60(1.32)	4.32(1.82)	4.24(1.92)	12.49	p<.001
シナリオ 3	6.48 (0.82)	5.60(1.47)	3.60(1.80)	3.84(1.75)	21.12	p<.001
シナリオ 4	6.56 (0.82)	6.00(1.54)	5.32(1.60)	5.00(1.80)	6.24	p<.001

ns=non significant(有意差なし)

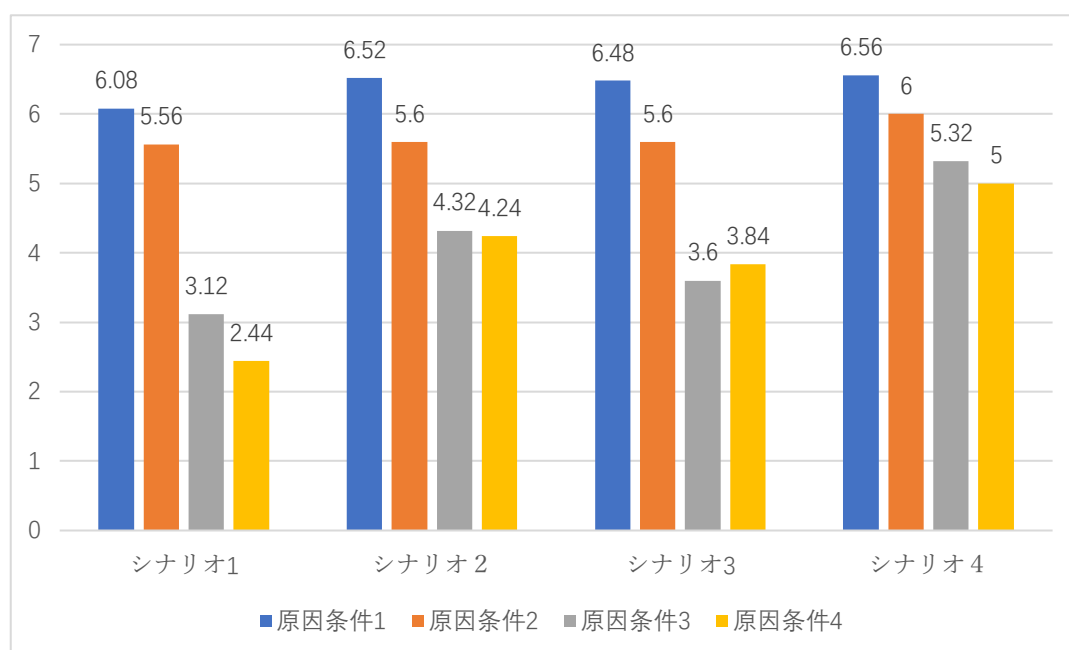


図 1. 中国語母語話者によるシナリオ別原因条件ごとの責任意識平均値

表 4 を見ると、原因条件の差が責任意識の評定に影響を与えることがわかる。条件間で比較すると、どのようなシナリオであっても、自分の問題により引き起こされたという内的条件によって生じる責任意識は、他人と自然現象により引き起こされたという外的条件より高い評定となった。全体的な責任意識の平均値の傾向は内的統制可能（自分のミス）＞内的統制不可能（めまい）＞外的統制可能（他人の不注意）＞外的統制不可能（自然からの損害）という順番になっている。友達にとって大切かつ復元できないものであれば、事態を引き起こした動作主は自分自身でなくても、強く責任意識が生じており、原因条件間の差が小さくなる。シナリオ 3 の外的要因のうち、統制可能条件が統制不可能条件より低い原因としては、動作主が不明であり、責任追及の元となる実体が存在しないため、自らの責任に帰す傾向があると言えよう。

表 5 は中国語母語話者による原因条件別シナリオごとの責任意識平均値の一元配置分散分析を行った結果である。外的要因による原因条件 3 と原因条件 4 の中で統計的に有意差が見られた ($p < .001$)。つまり、原因条件の差に加えて、損害を被ったものの属性が責任意識の評定にも影響される。中国語母語話者にとって、損害を被ったものの属性は一つの変数として、特に外的要因によって引き起こされた出来事への責任意識判断に影響を及ぼすものと考えられる。そして、図 1 を見ると、責任意識の平均値は $4 > 2 > 3 > 1$ の順になっている。属性が「復元できるかどうか」よりも、「高価であるかどうか」に影響され、「高価である」ものほど責任意識の評定が高くなる傾向にあった。

表 5. 中国語母語話者による原因条件別シナリオごとの責任意識平均値の有意検定(n=25)

	シナリオ 1	シナリオ 2	シナリオ 3	シナリオ 4	検定	
	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	F(3, 96)	p
原因条件 1	6.08 (1.26)	6.52 (0.92)	6.48 (0.82)	6.56 (0.82)	1.31	ns
原因条件 2	5.56(1.42)	5.60(1.32)	5.60(1.47)	6.00(1.54)	0.59	ns
原因条件 3	3.12(1.54)	4.32(1.82)	3.60(1.80)	5.32(1.60)	7.97	$p < .001$
原因条件 4	2.44(1.69)	4.24(1.92)	3.84(1.75)	5.00(1.80)	8.98	$p < .001$

ns=non significant (有意差なし)

次は日本語母語話者のデータである。図 2 は日本語母語話者によるシナリオ別原因条件ごとの責任意識の平均値である。全体的には日本語母語話者による責任意識の評定が中国語母語話者より高く見られた。同じ場面であっても責任意識の程度が母語話者によって異なることが分かった。吉成他 (2010) が指摘した「責任意識の程度は事態を引き起こした原因によって差があり、その差の傾向は言語によって異なる。」という傾向を裏付けるものである。

責任意識の平均値の有意検定を表 6 にまとめる。表 6 を見ると、シナリオ 4 を除いた、ほかのシナリオの中で有意差が見られた。原因条件による責任意識の差がシナリオ 1 とシナリオ 2 で最も大きい。シナリオ 3 は原因条件による差が小さく、シナリオ 4 では有意な差が見られなかった。

表 6. 日本語母語話者によるシナリオ別原因条件ごとの責任意識平均値の有意検定(n=12)

	原因条件 1	原因条件 2	原因条件 3	原因条件 4	検定	
	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	F(3, 44)	p
シナリオ 1	6.50 (0.90)	5.58(1.56)	3.75(2.30)	3.83(2.12)	6.71	p<.001
シナリオ 2	6.75 (0.62)	5.50(1.62)	4.33(1.67)	3.50(1.98)	9.89	p<.001
シナリオ 3	6.92 (0.29)	4.92(2.11)	4.08(1.98)	4.42(1.93)	6.36	p<.05
シナリオ 4	6.92 (0.29)	5.25(1.82)	5.42(1.78)	5.33(2.06)	2.81	ns

ns=non significant (有意差なし)

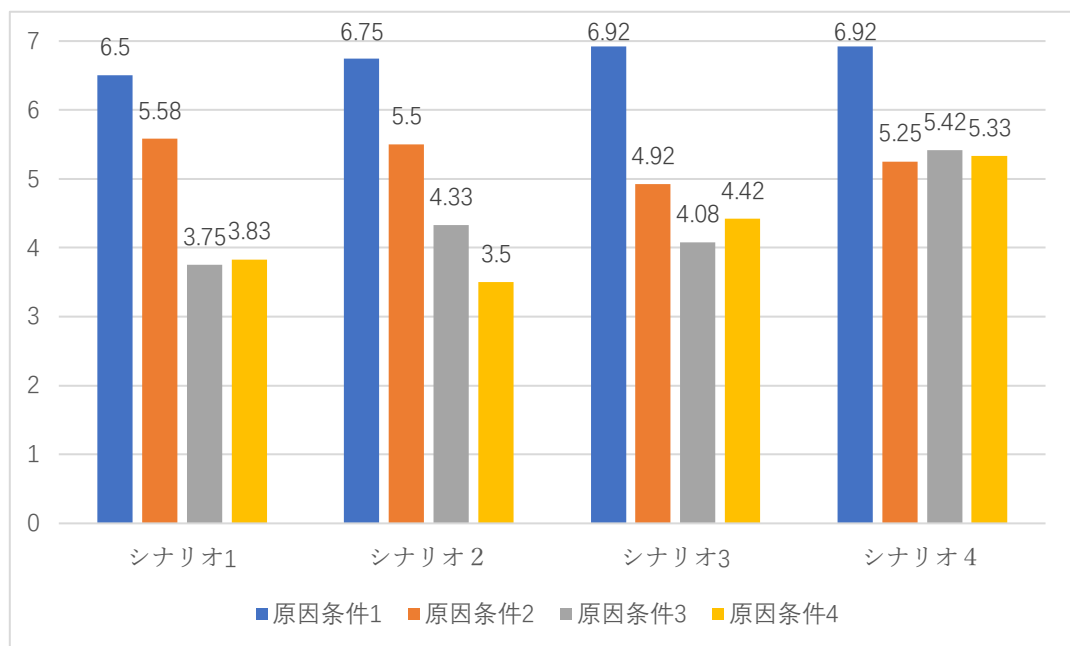


図 2. 日本語母語話者によるシナリオ別原因条件ごとの責任意識平均値

また、表 7 は日本語母語話者による原因条件別シナリオごとの有意検定を行った結果である。四つのシナリオの間に大きな差がないことが見られた。つまり、日本語母語話者の責任意識評価は損害を被ったものの属性にあまり影響されない点で、中国語母語話者と異なる。属性が復元できない場合には、高価であるものほど条件間の責任意識の平均値の差が小さくなる傾向は中国語母語話者と同じであった。

日本語母語話者グループの中で、自分のミスによって引き起こした原因条件 1 の責任意識の平均値はほかの原因条件より高い値になっている。シナリオ 4 は、外的条件の平均値が他のシナリオよりも高い。そして、外的条件の平均値が内的要因である原因条件 2 に近い。しかし、外的条件のうち、損害を被ったものの属性からの影響は中国語母語話者ほど強くない。日本語母語話者の責任意識の判断基準は主に原因条件によることが明らかになっ

た。これは吉成他（2010）と吉成・江口（2020）の結果と合致している。

表 7. 日本語母語話者による原因条件別シナリオごとの責任意識平均値の有意検定(n=12)

	シナリオ 1	シナリオ 2	シナリオ 3	シナリオ 4	検定	
	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	F(3, 44)	p
原因条件 1	6.50 (0.90)	6.75 (0.62)	6.92 (0.29)	6.92 (0.29)	1.35	ns
原因条件 2	5.58(1.56)	5.50(1.62)	4.92(2.11)	5.25(1.82)	0.34	ns
原因条件 3	3.75(2.30)	4.33(1.67)	4.08(1.98)	5.42(1.78)	1.65	ns
原因条件 4	3.83(2.12)	3.50(1.98)	4.42(1.93)	5.33(2.06)	1.89	ns

ns=non significant (有意差なし)

5.2 各事象への説明記述

この節では、中国語母語話者と日本語母語話者が各事象を言語化するとき、自由記述において言及率が最も高いのはどの事象であるか、または事象への言及はどのような要因に影響されるかを考察する。中国語母語話者と日本語母語話者の被験者数が異なっており、原因条件ごとの各事象への説明記述数も異なったため、各事象への言及率を示すことにする。

表 8 は中国語母語話者による各事象への説明記述をまとめたものである。5.1 節で明らかにしたように、原因条件に関して中国語母語話者は外的条件より内的条件の方に責任を強く感じる傾向がある。表 8 を見ると、全体的な傾向として、中国語母語話者の場合、外的条件の方が内的条件より原因事象への説明記述の言及率が高い。それと同時に結果事象の言及率は逆の傾向を示す。

シナリオを比較すると、シナリオ 1 の責任意識の平均値が一番低く、シナリオ 4 の平均値が一番高い。シナリオ 1 の場合、原因事象 1 と原因事象 2 への言及率の合計は 80%以上になっている。原因事象の記述が圧倒的に多く、結果事象の記述は 9%から 17%ほどである。損害を被った物の属性がシナリオ 1 と同じ「友達にとって大切ではない」であるシナリオ 3 において、原因事象への説明記述が結果事象より多く見られることから結果より事態が引き起こされた経緯に焦点があると思われる。また、シナリオ 3 で損害を被った物の属性は「復元できない」であり、結果事象の言及率は 35%から 47%であった。シナリオ 1 より頻繁に結果に言及する傾向が見られた。シナリオ 4 では、原因条件にかかわらず結果事象への言及率が原因事象への言及率より明らかに高く、55%以上であった。

損害を被った物の属性が「復元できる」であるシナリオ 2 において、内的条件の場合、結果事象への説明記述は 50%以上になっていて、二つの原因事象への言及率より高い。外的条件の場合、結果事象への言及率は 50%未満であった。内的要因で結果事象に多く言及し、

外的要因で原因事象に多く言及する傾向がある。

以上に述べたことをまとめると、中国語母語話者にとっては損害を被ったものの属性が各事象への説明記述に影響する可能性がある。すでに発生した出来事を言語化する際に、中国語母語話者は、責任を強く感じる場合、談話の焦点を結果に移す傾向が見られた。

表 8. 中国語母語話者による各事象への説明記述

シナリオ	原因条件	原因事象 1	原因事象 2	結果事象	合計
シナリオ 1	内的×統制可能	18 (60%)	7 (23%)	5 (17%)	30 (100%)
	内的×統制不可能	20 (62%)	7 (22%)	5 (16%)	32 (100%)
	外的×統制可能	23 (74%)	5 (16%)	3 (10%)	31 (100%)
	外的×統制不可能	27 (77%)	5 (14%)	3 (9%)	35 (100%)
シナリオ 2	内的×統制可能	11 (31%)	3 (9%)	21 (60%)	35 (100%)
	内的×統制不可能	12 (33%)	6 (17%)	18 (50%)	36 (100%)
	外的×統制可能	17 (45%)	3 (8%)	18 (47%)	38 (100%)
	外的×統制不可能	19 (45%)	6 (14%)	17 (40%)	42 (100%)
シナリオ 3	内的×統制可能	14 (44%)	3 (9%)	15 (47%)	32 (100%)
	内的×統制不可能	16 (52%)	2 (6%)	13 (42%)	31 (100%)
	外的×統制可能	17 (46%)	5 (14%)	15 (40%)	37 (100%)
	外的×統制不可能	19 (44%)	9(21%)	15(35%)	43 (100%)

	可能				
シナリオ 4	内的×統制可能	1 (3%)	9 (27%)	23 (70%)	33 (100%)
	内的×統制不可能	2(6%)	11(32%)	21(62%)	33(100%)
	外的×統制可能	3(8%)	11(31%)	22(61%)	36(100%)
	外的×統制不可能	5(13%)	13(32%)	22(55%)	40(100%)

表 9 は日本語母語話者による各事象への説明記述をまとめたものである。全体的に見ると、日本語母語話者は原因事象を多く記述し、出来事の結果より経緯に注目する傾向がある。シナリオ 1 とシナリオ 2 において、結果事象への言及率は 19%~33%であった。シナリオ 3 とシナリオ 4 の場合、結果事象への言及率は 42%~53%のであり、シナリオ 1 とシナリオ 2 より高い。原因条件間で各事象への言及率には大きな差が見られなかった。事象説明の面で、損害を被ったものの属性は日本語母語話者に影響を与える程度が中国語母語話者ほど強くなかった。日本語母語話者は言語化する際に、主に出来事の経緯に焦点を当てる。復元できない物の場合、焦点を出来事の結果に移す傾向が見られた。

表 9. 日本語母語話者による各事象への説明記述

シナリオ	原因条件	原因事象 1	原因事象 2	結果事象	合計
シナリオ 1	内的×統制可能	12 (60%)	3 (15%)	5 (25%)	20 (100%)
	内的×統制不可能	9 (56%)	2 (13%)	5 (31%)	16 (100%)
	外的×統制可能	10 (71%)	1 (7%)	3 (22%)	14 (100%)
	外的×統制不可能	13 (62%)	4 (19%)	4 (19%)	21 (100%)
シナリオ 2	内的×統制可	10 (46%)	5 (22%)	7 (32%)	22 (100%)

	能				
	内的×统制不可能	12 (71%)	0 (0%)	5 (29%)	17 (100%)
	外的×统制可能	12 (57%)	2 (10%)	7 (33%)	21 (100%)
	外的×统制不可能	13 (72%)	1 (6%)	4 (22%)	18 (100%)
シナリオ 3	内的×统制可能	8 (42%)	2 (11%)	9 (47%)	19 (100%)
	内的×统制不可能	7 (44%)	2 (13%)	7 (44%)	16 (100%)
	外的×统制可能	5 (33%)	3 (20%)	7 (47%)	15 (100%)
	外的×统制不可能	8 (42%)	3 (16%)	8 (42%)	19 (100%)
シナリオ 4	内的×统制可能	3 (14%)	8 (36%)	11 (50%)	22 (100%)
	内的×统制不可能	3 (18%)	6 (35%)	8 (47%)	17 (100%)
	外的×统制可能	2 (12%)	6 (35%)	9 (53%)	17 (100%)
	外的×统制不可能	2 (11%)	9 (47%)	8 (42%)	19 (100%)

5.3 一人称動作主他動詞の使用頻度と責任意識との関連性

この章では、話者が自由記述欄に書いた事態説明と言語表現に基づき、一人称動作主他動詞の使用頻度と責任意識との関連性を分析する。5.2 節と同様、ここでは動詞の使用率を計量して比較する。

表 10 は、中国語母語話者における四つのシナリオと四つの原因条件の中での責任意識の平均値と動詞使用の頻度をまとめたものである。表 10 を見ると、中国語母語話者の一人称

動作主他動詞の使用頻度は原因の所在と条件の統制可能性という要因に左右されることがわかる。一人称動作主他動詞の使用頻度は、責任意識を強く感じる状況ほど高くなる傾向がある。自分の問題で引き起こした内的条件では、責任意識の平均値が高く、一人称動作主他動詞の使用率も 60%以上になっている。これは責任意識平均値が低い第三者や自然現象によって引き起こされた外的条件での一人称動作主他動詞の使用頻度よりかなり高い。外的条件の場合、出来事を引き起こした動作主が第三者の場合、三人称動作主他動詞を多用する傾向にある。特にシナリオ 1、シナリオ 2、シナリオ 3 の原因条件 3 において、三人称動作主他動詞の使用頻度は 42%、58%、49%である。強風などの自然現象によって引き起こされたシナリオ 1 とシナリオ 2 の原因条件 4 の場合、無生物動作主他動詞を多用し、使用頻度はそれぞれ 45%と 54%である。中国語母語話者は出来事を客観的に描写する傾向があると言える。

5.1 節では、中国語母語話者の責任意識の評定に影響を与える要素は原因条件だけではなく、原因条件が外的条件の場合、損害を被ったものの属性が責任意識に影響を与える可能性もあることを指摘した。シナリオ 1、シナリオ 2、シナリオ 3 で原因条件が外的条件の場合、一人称動作主他動詞の使用頻度は 5%~13%である。シナリオ 4 で原因条件が外的条件の場合、一人称動作主他動詞の使用頻度は 28%~33%であり、ほかの三つのシナリオグループより高い値を示している。それは、友達にとって「大切かつ復元できない物」であるため、出来事を引き起こした動作主が自分ではなくても、自分に責任を帰属させる傾向があるからと考えられる。この傾向から、中国語母語話者においては一人称動作主他動詞の使用と責任意識の間に関連性があることがわかる。中国語母語話者は責任を強く感じるとき、他動詞を用いて言語化する傾向がある。しかし、責任意識は、必ずしも他動詞使用の動機づけとは言えない。

表 10. 中国語母語話者による責任意識の平均値と動詞使用の頻度

シナリオ	原因条件	責任意識 平均値	他動詞				自動詞	合計
			一人称動 作主	三人称動 作主	無生物動 作主	対象		
シナリオ 1	内的×統制 可能	6.08	22 (73%)			6(20%)	2 (7%)	30(100%)
	内的×統制 不可能	5.56	25 (78%)			5(16%)	2 (6%)	32(100%)
	外的×統制	3.12	4 (13%)	13 (42%)		9(29%)	5 (16%)	31(100%)

	可能							
	外的×統制	2.44	4 (11%)		19 (54%)	9(26%)	3 (9%)	35(100%)
	不可能							
シナリオ 2	内的×統制	6.52	23(66%)			4(11%)	8(23%)	35(100%)
	可能							
	内的×統制	5.60	22(61%)			5(14%)	9(25%)	36(100%)
	不可能							
	外的×統制	4.32	4(11%)	22(58%)		2(5%)	10(26%)	38(100%)
	可能							
シナリオ 3	外的×統制	4.24	4(10%)		19(45%)	6(14%)	13(31%)	42(100%)
	不可能							
	内的×統制	6.48	22 (69%)				10 (31%)	32(100%)
	可能							
	内的×統制	5.60	22 (71%)				9 (29%)	31(100%)
	不可能							
シナリオ 4	外的×統制	3.60	2 (5%)	18 (49%)			17 (46%)	37(100%)
	可能							
	外的×統制	3.84	2 (5%)	1 (2%)			40 (93%)	43(100%)
	不可能							
	内的×統制	6.56	25 (76%)				8 (24%)	33(100%)
	可能							
シナリオ 4	内的×統制	6.00	17 (52%)				16 (48%)	33(100%)
	不可能							
	外的×統制	5.32	10 (28%)	6 (17%)			20 (55%)	36(100%)
	可能							
	外的×統制	5.00	13 (33%)				27 (67%)	40(100%)
	不可能							

5.1 節では、内的条件で起こった非意図的な事態に対して日本語母語話者が責任意識を強く感じることを示した。表 11 は日本語母語話者のデータである。表 11 から、自分の不注

意である原因条件1において責任を最も強く感じていることがわかる。全体的には責任意識を強く感じる内的条件の中で、一人称動作主他動詞の使用頻度は自動詞より高くなる傾向が見られた。ただし、シナリオ2の原因条件1とシナリオ4の原因条件2は、内的条件が原因条件であるが、自動詞の使用頻度がそれぞれ55%と59%であり、一人称動作主他動詞より使用頻度が高い。外的条件の場合、シナリオ1、シナリオ2、シナリオ3の一人称動作主他動詞の使用頻度は10%~27%の区間にあった。シナリオ4で責任を感じる平均値はかのシナリオより高く、四つの原因条件間での責任意識の差も小さかったため、事態を起こした要因が外界からの場合でも、一人称動作主他動詞の使用頻度は32%~47%の高さであった。これは日本語母語話者と中国語母語話者に共通する傾向である。日本語母語話者が非意図的な出来事を描写するとき、一人称動作主他動詞の使用頻度と責任意識との正の相関がある点は吉成他（2010）、吉成・江口（2020）の結論を支持する。吉成他（2010）は主に日本語と韓国語、マラーティー語との比較を通して、「認識レベルではどの言語話者も同じように責任意識を持っているとしても、それが必ずしも他動詞表現を選択することにはならず、両者の結びつき個別言語ごとに異なっている（p187）」と述べている。本節でこれまでに示したデータから、日本語と同様に中国語でも責任を強く感じる場合に一人称動作主他動詞の表現を選択する傾向があることがわかった。

表 11. 日本語母語話者による責任意識の平均値と動詞使用の頻度

シナリオ	原因条件	責任意識 平均値	他動詞		自動詞	合計
			一人称動作主	三人称動作主		
シナリオ1	内的×統制可能	6.50	12 (60%)		8 (40%)	20(100%)
	内的×統制不可能	5.58	11 (69%)		5 (31%)	16(100%)
	外的×統制可能	3.60	2 (14%)	2 (14%)	10 (72%)	14(100%)
	外的×統制不可能	3.84	2 (10%)		19 (90%)	21(100%)
シナリオ2	内的×統制可能	6.75	10 (45%)		12 (55%)	22(100%)

	内的×統制 不可能	5.50	12 (71%)		5 (29%)	17(100%)
	外的×統制 可能	4.33	3 (14%)	5 (24%)	13 (62%)	21(100%)
	外的×統制 不可能	3.50	4 (22%)		14 (78%)	18(100%)
シナリオ 3	内的×統制 可能	6.92	12 (63%)		7 (37%)	19(100%)
	内的×統制 不可能	4.92	11 (69%)		5 (31%)	16(100%)
	外的×統制 可能	4.08	4 (27%)		11 (73%)	15(100%)
	外的×統制 不可能	4.42	5 (26%)		14 (74%)	19(100%)
シナリオ 4	内的×統制 可能	6.92	14 (64%)		8 (36%)	22(100%)
	内的×統制 不可能	5.25	7 (41%)		10 (59%)	17(100%)
	外的×統制 可能	5.42	8 (47%)		9 (53%)	17(100%)
	外的×統制 不可能	5.33	6 (32%)		13 (68%)	19(100%)

日本語には無生物動作主他動詞文の制限がある。それに対して、中国語にはこのような制限がないため、原因条件 4 において、日本語母語話者は中国語母語話者より自動詞文を多用する。

原因条件 3 において、日本語母語話者に中国語母語話者より自動詞文を多用する傾向があった。(21)と(22)はそれぞれ日本語母語話者と中国語母語話者の回答から抽出した例文である。事態の引き起こし手が他人であることを表現する場合、日本語母語話者は(21a)のように三人称動作主他動詞文を用いることができるが、実際に出来事の経緯を描写するとき、

(21b)のような自動詞文表現を好む話者が少なくない。一方、中国語母語話者は逆に(22)の三人称動作主他動詞文で描写する割合が高い。

(21) a. 隣の人が自転車を取ろうとしたら倒しちゃったみたいで。

b. 人がぶつかって荷物が倒れて、瓶が割れちゃった。

(22) 刚才 有 人 推 车 出来 时, 弄倒 了 你 的

さっき ある 人 押す 自転車 出てくる とき 倒す PFV 2SG の

自行车, 刮花 了 你 的 车。

自転車 傷つける PFV 2SG の 自転車

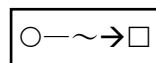
「さっき、ある人は自転車を取り出そうとしたとき、あなたの自転車を倒して、傷つけちゃった。」

この現象を認知類型論の面から説明することを試みる。Langacker(1991)は外部世界で起こった事態における状態変化と因果関係はモノからモノへのエネルギーの推移として捉えることができると主張し、ベリアードモデルの認知モデルを提出した。エネルギーの推移関係によって日常言語の構文は外部世界の事態認識を反映する。山梨(1995)は、外部世界の事態を「状態」、「変化」、「因果関係」の三つのシーンに分類する。「状態」はモノの存在あるいはモノとモノとの関係に対応し、「変化」は状態やモノの推移に対応し、「因果関係」は二つ以上のモノの間のエネルギー転換とその転換による状態の変化に対応する。(23)は山梨(1995)が Langacker (1991)のベリアードモデルに基づいて規定したネットワークモデルである。(23a)は状態、(23b)は変化、(23c)は因果関係を表す。長方形のフレームは認知スコープという。日常言語における他動性と自動性にかかわる問題は(23)のような認知モデルで解釈することができると述べている。どの部分が背景化され、どの部分が前景化されるかことによって他動詞文と自動詞文のいずれで言語化されるかが決まる。

(23) a. 状態：



b. 変化：



c. 因果関係： $\boxed{\bigcirc \Rightarrow \bigcirc - \sim \rightarrow \square}$

(山梨 1995: 254)

(23a)の正方形はモノの状態である。変化前の状態を(23b)の丸で示し、変化後の状態を(23b)の正方形で示す。丸から正方形に伸びる矢印はモノの変化を意味する。(23c)の左端のサークルは状態変化を起こす存在であり、二重矢印は状態変化を生じさせるエネルギー転移である。

(21)と(22)を(23)の認知モデルで説明することができる。日本語母語話者は原因条件3で(21b)のような自動詞文を多用する。行為の主体としての第三者と動作の実施が背景化され、変化の対象である「自転車」と変化の結果の「壊れる」に焦点があり、対象の変化と変化の結果が認知の中心としてスコープに入る。それを図式化したものが(24a)である。中国語母語話者は言語化する際に(22)のような構文が好ましいと考えるため、行為主体の第三者、変化の対象、変化の結果がすべて前景化されて認知焦点のスコープに入る。それを図式化したものが(24b)である。

(24) a. $\bigcirc \Rightarrow \boxed{\bigcirc - \sim \rightarrow \square}$ (= (21b))

b. $\boxed{\bigcirc \Rightarrow \bigcirc - \sim \rightarrow \square}$ (= (22))

池上(1981)は「する言語」と「なる言語」の二つ言語類型論を提案している。「する言語」は英語のように動作主を文の中心の地位に据えるという個体中心的な捉え方をする言語であり、「なる言語」は日本語のように出来事全体を把握する傾向が強い捉え方をする言語である。前者は人間中心の「もの」の視点、後者は状況中心の「こと」の視点である。

(24)の(21b)の図式を見ると、日本語はすでに発生した事態の結果に注目することがわかる。(22)の中国語は英語のように動作主を際立たせて表現しようとする「する言語」の特徴があり、「なる言語」の日本語と対立の立場にある。しかし、「する言語」が必ずしも「なる言語」の特徴を持っていないわけではなく、「なる言語」にも必ずしも「する言語」の特徴がないわけではない。野田(2015)は、「する言語」と「なる言語」の類型論に関して(25)の反例を出して、「なる言語」としての日本語にも「する言語」のような振る舞いが見られ、「日本語は「なる言語」で、英語などは「する言語」だ」という先入観を捨て、むしろそ

れとは反対のように見える言語現象を発掘していく必要がある。(中略)それぞれの言語でどんな部分を他動的・使役的に表現し、どんな部分を自動的・受動的に表現しているのかといった新たな枠組みの研究が可能になる」と野田(2015)は指摘している。

- (25) a. 私たちは、空襲で家財道具をみんな焼いてしまった。(=(12a))
b. 彼女は澄んだ目をしている。

野田 (2015: 119)

非意図的な場面を描写するとき、中国語母語話者はどの場面と条件でも客観的に動作主の存在を強調する「動作主指向型」の傾向が強く見られる。池上(1981)の定義では、日本語は結果状態を重視する「出来事全体把握型」の言語である。2.3節で、日本語における非意図的な他動詞文の成立条件は主格名詞に含まれる責任と深くかかわっているという分析を紹介した。アンケートの結果から見ると、日本語は元々「出来事全体把握型」である言語のため、日本語母語話者は責任を強く感じていない原因条件3において焦点が状態変化の結果にあり、事態を引き起こした動作主の存在を背景化して、自動詞文で表現する傾向が強かった。一方、責任を強く感じる内的条件では他動詞文を多用し、動作主の存在を強調する。目的語にある状態変化を生じさせる責任を動作主としての自分に帰属し、動作主指向型である「する言語」の振る舞いをする。日本語では責任の概念が文法構造と語用論的な構文の選択の両方を規定している。2.3節で示したように、非意図的な動作主を主語とする他動詞文は動作主の指示物が生じた事態に責任を持つ場合に用いられる。また、話者が事態に責任を感じる度合いが強いほど一人称動作主他動詞文が使われる傾向がある。非意図的な場面を描写する際に、日本語における「する言語」の表現と「なる言語」の表現は話者が感じた責任の強さによって転換するものと考えられる。

6. おわりに

本研究では、非意図的な出来事を描写するとき、他動詞表現と責任意識との関連性、そして事象への説明記述について日本語と中国語にどのような傾向があるのかをアンケートによって調査し、分析した。以下に分析の結果まとめる。

まず、責任に関する意識調査を通して、同じ場面における責任意識の感じ方は話者の母語によって異なることがわかった。日本語母語話者による責任意識の評定値は中国語母語話者より高かった。中国語母語話者にとって責任意識の判断に影響を与える要因には、原因条

件だけでなく、損害を被ったものの属性も含まれる。日本語母語話者の責任意識の判断は主に原因条件によって影響される。

事象への説明記述に関しては、中国語母語話者は事象連鎖を描写するとき、原因条件と損害を被ったものの属性の両方からの影響を受ける。中国語母語話者は責任を強く感じるときに結果事象への言及率が高いという傾向があった。原因条件と損害を被ったものの属性は日本語母語話者に与える影響が中国語母語話者ほど強くない。日本語母語話者は言語化する際に、結果より主に出来事の経緯に焦点を当てる。

非意図的な出来事を描写し、責任を強く感じる場合、一人称動作主他動詞の使用頻度が高くなるのは日本語母語話者と中国語母語話者の共通点である。両言語には違いもある。外的条件、とりわけ原因条件3について描写する際に両言語の母語話者には違いが見られる。中国語母語話者は三人称動作主他動詞文を使う傾向がある。一方日本語母語話者は自動詞を使う傾向がある。これらの特徴は「する（動作主指向型）言語」としての中国語と「なる（出来事全体把握型）言語」としての日本語の性質を反映したものである。しかしながら、責任を強く感じる場合に日本語でも他動詞文が用いられることは「なる言語」も状況によっては「する言語」の振る舞いをする可能性があることを示すものと考えられる。

今回の調査において、調査協力者の性別の割合が均一ではなく、全体的に女性の割合が高かったため、男女比を均一にする必要がある。調査協力者の人数に関しては、中国語母語話者は日本語母語話者の約二倍であり、実験の結果に影響する可能性があるため、調査協力者のそれぞれの人数を一致させる必要がある。また、この調査は20代前後の方に限定しており、年齢差によって異なった結果が出るかもしれないため、幅広い年齢層に調査協力者を依頼する必要がある。以上3点を今後の課題にする。

参考文献

- 天野みどり(1987)「状態変化主体の他動詞文」『国語学』151: 1-14.
- 天野みどり(2002)『文の理解と意味構造』東京: 笠間書院.
- 池上嘉彦(1981)『「する」と「なる」の言語学: 言語と文化のタイポロジーへの試論』東京: 大修館書店.
- 奥津敬一郎(1967)「自動化、他動化および両極化転形」『国語学』70: 46-66.
- 佐藤琢三(2005)『自動詞文と他動詞文の意味論』東京: 笠間書院.
- 申亜敏(2009)「中国語結果複合動詞の意味と構造: 日本語の複合動詞・英語の結果構文との対照及び類型的視点から」博士論文, 東京外国語大学大学院総合国際学研究科.
- 中右実・西村義樹(1998)『構文と事象構造』東京: 研究社.

- 西光義弘 (2010) 「他動性は連続体か」 西光義弘・プラシヤント・パルデシ (編) 『自動詞・他動詞の対照』 211-233. 東京: くろしお出版.
- 野田尚史 (2015) 「世界の言語研究に貢献できる日本語文法研究とその可能性: 「する」 言語と「なる」 言語, 高コンテキスト言語と低コンテキスト言語の再検討を中心に」 益岡隆志 (編) 『日本語研究とその可能性』 106-130. 東京: 開拓社.
- 早津恵美子 (1987) 「対応する他動詞のある自動詞の意味的・統語的特徴」 『言語学研究』 6: 79-109.
- 堀江薫(2020) 「認知言語学と言語類型論」 池上嘉彦・山梨正明(編) 『認知言語学 I』 37-60. 東京: ひつじ書房.
- 水谷修 (1979) 『話ことばと日本人: 日本語の生態』 東京: 創拓社.
- 望月圭子 (2003) 「日本語と中国語における使役起動交替」 国松昭・湯本昭南・馬場彰・東信行・高橋作太郎(編) 『松田徳一郎教授追悼論文集』 236-260. 東京: 研究社.
- 山梨正明(1995) 『認知文法論』 東京: ひつじ書房.
- 吉成裕子・パルデシ・鄭聖汝 (2010) 「非意図的な出来事における他動詞使用と責任意識: 日本語・韓国語・マラーティー語の実態調査と通じて」 岸本秀樹(編) 『ことばの対照』 175-189. 東京: くろしお出版.
- 吉成裕子・江口清子(2020) 「非意図的事象による事態の描写と責任意識の関係: 日本語・ハンガリー語の考察から」 『神戸言語学論議』 12: 144-157.
- Haspelmath, Martin (1993) More on the typology of inchoative/causative verb alternations. In: Bernard Comrie and Maria Polinsky (eds.) *Causatives and Transitivity*, 87-120. Amsterdam: John Benjamins Publishing Company.
- Hinds, John (1986) *Situation vs. Person Focus*. Tokyo: Kurosio Publishers.
- Hopper, Paul and Sandra Thompson (1980) Transitivity in grammar and discourse. *Language* 56: 251-299.
- Langacker, Ronald W. (1991) *Concept, Image, and Symbol*. Berlin/NewYork: Walter de Gruyter.

謝辞

本研究の作成にあたり、指導教員である佐々木冠教授に終始多大なご指導を賜り、心より深く感謝を申し上げます。副査である津熊良政教授にご助言いただいたことに感謝いたします。日本語の文章を添削してくださったアカデミックライティングの皆様には厚礼を申し上げます。また、調査をするにあたり、ご協力してくださった札幌学院大学の奥田統己先生の学生の皆様、2022 年度立命館大学文学部専門演習Ⅰ、文学部基礎購読Ⅱ、教養ゼミナール(07)受講者の皆様、言語教育情報研究科の皆様に感謝の意を表す。

付録

日本語母語話者向けアンケート

言語表現と場面意識に関する調査

これは言語表現と場面意識に関する調査です。言語表現と場面意識の対応関係は言語により異なることが近年の研究で明らかになっています。この後に示す質問は日本語母語話者の言語表現と場面意識を明らかにするための質問です。この調査で得られた情報は研究目的以外では使用しません。また、個人情報（性別と年齢を伺います）は厳重に管理します。何卒ご協力のほどよろしくお願いします。

1. あなたの性別は以下のどちらですか。

○男性 ○女性

2. あなたの年齢を教えてください。

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。下線部が出来事の原因条件、下線部の次の描写が原因条件によって引き起こされた一連の事象連鎖です。括弧内が損害を被ったものの属性です。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 1 (a)

a. カフェで、あなたは友達と一緒に勉強しています。コーヒーを飲みながら本を読んでいた。急に電話があり、友達は席を外しました。あなたがコップを取ろうとした時、自分の不注意で、コップに手が当たり、コーヒーがこぼれて、コーヒーが友達のペンケースにかかって、ペンケースに染みが付いてしまいました。（友達にとって大切なものではありません、シミは拭き取れます。）

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 1 (b)

b. カフェで、あなたは友達と一緒に勉強しています。コーヒーを飲みながら本を読んでいた。急に電話があり、友達は席を外しました。あなたがコップを取ろうとした時、めまいがして、コップに手が当たり、コーヒーがこぼれて、コーヒーが友達のペンケースにかかって、ペンケースに染みが付いてしまいました。(友達にとって大切なものではありません、シミは拭き取れます。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 1 (c)

c. カフェで、あなたは友達と一緒に勉強しています。コーヒーを飲みながら本を読んでいた。急に電話があり、友達は席を外しました。あなたがコップを取ろうとした時、隣の手がコップに当たって、コーヒーがこぼれて、コーヒーが友達のペンケースにかかって、ペンケースに染みが付いてしまいました。(友達にとって大切なものではありません、シミは拭き取れます。)

1. 友達に、理由を述べながら説明してください。

2. 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

3. あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 1(d)

d. カフェで、あなたは友達と一緒に勉強しています。コーヒーを飲みながら本を読んでいた。急に電話があり、友達は席を外しました。あなたがコップを取ろうとした時、強い風でコップが倒れて、コーヒーがこぼれて、コーヒーが友達のペンケースにかかって、ペンケースに染みが付いてしまいました。(友達にとって大切なものではありません、シミは拭き取れます。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。下線部が出来事の原因条件、下線部の次の描写が原因条件によって引き起こされた一連の事象連鎖です。括弧内が損害を被ったものの属性です。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 2(a)

a. スーパーの駐輪場がほぼ満車状態で、あなたは友達から借りた自転車をほかの自転車と並べて停めていました。帰る時、自分の不注意で、友達の自転車が倒れて、隣に止めてあったバイクにぶつかってしまって、友達の自転車の傷がつかしました。(貴重品です、傷は補修できます。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 2(b)

b. スーパーの駐輪場がほぼ満車状態で、あなたは友達から借りた自転車をほかの自転車と並べて停めていました。帰る時、自転車に乗ろうとしたら、急に体の調子が悪くなって、友達の自転車が倒れて、隣に止めてあったバイクにぶつかってしまって、友達の自転車の傷がつかしました。(貴重品です、傷は補修できます。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 2(c)

c. スーパーの駐輪場がほぼ満車状態で、あなたは友達から借りた自転車をほかの自転車と並べて停めていました。帰る時、隣の自転車の持ち主が自転車を取り出そうとしたために、友達の自転車が倒れて、隣に止めてあったバイクにぶつかってしまって、友達の自転車の傷がつかしました。(貴重品です、傷は補修できます。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 2(d)

d. スーパーの駐輪場がほぼ満車状態で、あなたは友達から借りた自転車をほかの自転車と並べて停めていました。帰る時、自転車に乗ろうとしたら、台風による強い風が吹いて、友達の自転車が倒れて、隣に止めてあったバイクにぶつかってしまって、友達の自転車の傷がつかしました。(貴重品です、傷は補修できます。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

	1	2	3	4	5	6	7	
避けられなかった	○	○	○	○	○	○	○	避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。下線部が出来事の原因条件、下線部の次の描写が原因条件によって引き起こされた一連の事象連鎖です。括弧内が損害を被ったものの属性です。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 3(a)

a. 友達が野球の試合に出ている間、あなたは友達の荷物を預かっていました。席から立ち上がった時、自分の不注意で、友達の荷物が倒れて、荷物の中にあった炭酸飲料のガラス瓶が地面に落ちて、割れてしまいました。(飲み終われば捨てるものです、復元できません。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

	1	2	3	4	5	6	7	
責任がない	○	○	○	○	○	○	○	責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

	1	2	3	4	5	6	7	
避けられなかった	○	○	○	○	○	○	○	避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 3(b)

b. 友達が野球の試合に出ている間、あなたは友達の荷物を預かっていました。席から立ち上がる時、急にめまいがして、体が荷物に当たったために、友達の荷物が倒れて、荷物の中にあった炭酸飲料のガラス瓶が地面に落ちて、割れてしまいました。(飲み終われば捨てるものです、復元できません。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 3(c)

c. 友達が野球の試合に出ている間、あなたは友達の荷物を預かっていました。そばを通りかかった人の体が荷物に当たって、友達の荷物が倒れて、荷物の中にあった炭酸飲料のガラス瓶が地面に落ちて、割れてしまいました。(飲み終われば捨てるものです、復元できません。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 3(d)

d. 友達が野球の試合に出ている間、あなたは友達の荷物を預かっていました。よく分からない原因で、荷物のバランスを失って倒れて、荷物の中にあった炭酸飲料のガラス瓶が地面に落ちて、割れてしまいました。(飲み終われば捨てるものです、復元できません。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。下線部が出来事の原因条件、下線部の次の描写が原因条件によって引き起こされた一連の事象連鎖です。括弧内が損害を被ったものの属性です。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 4(a)

a. バスで移動中に、友人から預かった絶版になっている CD を入れた鞆を荷台に置きました。鞆の中から携帯電話を取ろうとした際に、自分の不注意で、かばんの口が大きく開いて、CD がかばんの中から落ちて、ケースが割れてしまいました。(友達にとって大切なものです、復元できません。)

(1) 友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3) あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 4(b)

b. バスで移動中に、友人から預かった絶版になっている CD を入れた鞆を荷台に置きました。急に目まいでふらついて体が鞆にあたったために、かばんの口が大きく開いて、CD がかばんの中から落ちて、ケースが割れてしまいました。(友達にとって大切なものです、復元できません。)

(1)友達に、理由を述べながら説明してください。

(2)上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3)あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 4(c)

c. バスで移動中に、友人から預かった絶版になっている CD を入れた鞆を荷台に置きました。車内が混んでいて、降りようとした人が鞆にぶつかったために、かばんの口が大きく開いて、CD がかばんの中から落ちて、ケースが割れてしまいました。(友達にとって大切なものです、復元できません。)

(1)友達に、理由を述べながら説明してください。

(2)上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3)あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

枠内に示されている文章をよく読み、その状況を鮮明に思い浮かべてください。そして、質問(1)では起こった出来事に対する説明を、話し言葉で自由に記述してください。下線部だけが前のページと異なります。また、質問(2)～(3)では各質問項目に対し、あなたの考えに最も近い数字を選んでください。

シナリオ 4(d)

d. バスで移動中に、友人から預かった絶版になっている CD を入れた鞆を荷台に置きました。バスが急に揺れて、かばんの口が大きく開いて、CD がかばんの中から落ちて、ケースが割れてしまいました。(友達にとって大切なものです、復元できません。)

(1)友達に、理由を述べながら説明してください。

(2) 上述の事態に対しては、あなたに責任があると思いますか。責任を強く感じる場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

責任がない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 責任がある

(3)あなたには、この事態を避けることができたと思いますか。回避できた可能性が高いと思う場合は高い数値を選択してください。

1 2 3 4 5 6 7

避けられなかった ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 避けられた

調査へのご協力に感謝します。この調査への問合せは、以下の連絡先までお願いします。

Lin Xiaoming <gr0504iv@ed.ritsumei.ac.jp>

中国語母語話者向けアンケート

关于语言表达和场面意识的调查

这是关于语言表达和场面意识的调查。近年的部分相关研究表明了语言表达（动词的使用情况等）和场面意识的对应关系随着语言的不同而不同。接下来是为了表明中文母语话者的语言表达和场面意识的关联性所设置的问题，此问卷根据物品的属性，共设有四种情节，每种情节根据四种原因条件，共分为 16 种情况。问卷中所要求的回答只做研究用途，个人情报也将严格保管。

1. 你的性别

☐ 男性 ☐ 女性

2. 你的年龄

阅读下面的文章，回想状况。下划线部分是引发事件的原因条件，下划线之后的部分是由原因条件引发的一连串事象连锁，括号内是被损坏的物品的属性。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 1 (A)

A. 你和朋友一起在咖啡店自习，一边喝咖啡一边看书。突然朋友接到了一个电话，离开了座位。你准备拿杯子的时候，由于自己的不注意，碰到了杯子，咖啡洒了，朋友的笔盒溅上了咖啡印，变脏了。（对朋友来说不是贵重物品，印记可以擦除。）

（1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明

（2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

没有责任 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 有责任

（3）你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

不能避免 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 1 (B)

B. 你和朋友一起在咖啡店自习，一边喝咖啡一边看书。突然朋友接到了一个电话，离开了座位。你准备拿杯子的时候，由于一阵头晕，碰到了杯子，咖啡洒了，朋友的笔盒溅上了咖啡印，变脏了。（对朋友来说不是贵重物品，印记可以擦除。）

（1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。

（2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

没有责任 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 有责任

（3）你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

不能避免 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 1 (C)

C. 你和朋友一起在咖啡店自习，一边喝咖啡一边看书。突然朋友接到了一个电话，离开了座位。你准备拿杯子的时候，杯子被旁边的人碰到了，咖啡洒了，朋友的笔盒溅上了咖啡印，变脏了。（对朋友来说不是贵重物品，印记可以擦除。）

（1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。

（2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

没有责任 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 有责任

（3）你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

不能避免 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 1 (D)

D. 你和朋友一起在咖啡店自习，一边喝咖啡一边看书。突然朋友接到了一个电话，离开了座位。你准备拿杯子的时候，一阵强风吹来，杯子倒了，咖啡洒了，朋友的笔盒溅上了咖啡印，变脏了。（对朋友来说不是贵重物品，印记可以擦除。）

(1) 请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。

(2) 对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

没有责任 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 有责任

(3) 你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

不能避免 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。下划线部分是引发事件的原因条件，下划线之后的部分是由原因条件引发的一连串事象连锁，括号内是被损坏的物品的属性。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 2(A)

A. 超市的停车场几乎停满了车，你把从朋友那里借来的自行车和其他人的并排停在一起。回去的时候，由于自己的不注意，朋友的自行车倒了，撞上旁边停着的摩托车，朋友的自行车被刮花了。（对朋友来说是较为贵重的物品，划痕可以修复）

(1) 请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明

(2) 对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

没有责任 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 有责任

(3) 你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

不能避免 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题（1）中，对朋友就已发

生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 2(B)

B. 超市的停车场几乎停满了车，你把从朋友那里借来的自行车和其他人的并排停在一起。回去的时候，准备骑车时突然感到不舒服，朋友的自行车倒了，撞上旁边停着的摩托车，朋友的自行车被刮花了。（对朋友来说是较为贵重的物品，划痕可以修复）

（1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。

（2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

没有责任 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 有责任

（3）你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

不能避免 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 2(C)

C. 超市的停车场几乎停满了车，你把从朋友那里借来的自行车和其他人的并排停在一起。回去的时候，旁边自行车的车主把他的车拿出来时，朋友的自行车倒了，撞上旁边停着的摩托车，朋友的自行车被刮花了。（对朋友来说是较为贵重的物品，划痕可以修复）

（1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。

（2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

没有责任 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 有责任

（3）你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

不能避免 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 2(D)

D. 超市的停车场几乎停满了车，你把从朋友那里借来的自行车和其他人的并排停在一起。回去的时候，准备骑车时，由于台风天刮来一阵强风，朋友的自行车倒了，撞上旁边停着的摩托车，朋友的自行车被刮花了。（对朋友来说是较为贵重的物品，划痕可以修复）

- （1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。
- （2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
没有责任	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	有责任

（3）你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
不能避免	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	可以避免

阅读下面的文章，回想状况。下划线部分是引发事件的原因条件，下划线之后的部分是由原因条件引发的一连串事象连锁，括号内是被损坏的物品的属性。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 3(A)

A. 朋友去参加跑步比赛了，你在观众席上帮朋友保管着行李。从座位上站起来的时候，由于自己的不注意，朋友的行李倒了，行李中装着的碳酸饮料玻璃瓶掉出来，碎掉了。（饮用完就丢弃的物品，无法复原。）

- （1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。
- （2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
没有责任	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	有责任

（3）你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
--	---	---	---	---	---	---	---	--

不能避免 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 3(B)

B. 朋友去参加跑步比赛了，你在观众席上帮朋友保管着行李。从座位上站起来的时候，由于突然感到一阵晕眩，身子碰到了行李，朋友的行李倒了，行李中装着的碳酸饮料玻璃瓶掉出来，碎掉了。（饮用完就丢弃的物品，无法复原。）

（1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。

（2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

没有责任 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 有责任

（3）你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

不能避免 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 3(C)

C. 朋友去参加跑步比赛了，你在观众席上帮朋友保管着行李。旁边路过的行人蹭到了行李，朋友的行李倒了，行李中装着的碳酸饮料玻璃瓶掉出来，碎掉了。（饮用完就丢弃的物品，无法复原。）

（1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。

（2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7

没有责任 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 有责任

（3）你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7
不能避免 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 3(D)

D. 朋友去参加跑步比赛了，你在观众席上帮朋友保管着行李。由于不明的原因，朋友的行李失去平衡倒了，行李中装着的碳酸饮料玻璃瓶掉出来，碎掉了。（饮用完就丢弃的物品，无法复原。）

（1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。

（2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7
没有责任 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 有责任

（3）你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7
不能避免 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 可以避免

阅读下面的文章，回想状况。下划线部分是引发事件的原因条件，下划线之后的部分是由原因条件引发的一连串事象连锁，括号内是被损坏的物品的属性。在问题（1）中，对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题（2）和问题（3）中，选择你认为程度最接近的数字。

情节 4 (A)

A. 公共汽车行驶中，你把包放在了座位旁边，里面装有朋友寄在你这里的绝版 CD。打算从包里拿手机的时候，由于自己的不注意，包开了，CD 从包里掉出来，外壳裂开了。（对朋友来说是贵重物品，不可复原）

（1）请对朋友就上述发生的情况过程，进行自由描述和说明。

（2）对于上述发生的情景，你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感，请往数值高的方向选择。

1 2 3 4 5 6 7
没有责任 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 有责任

(3) 你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大, 请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
不能避免	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	可以避免

阅读下面的文章, 回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题 (1) 中, 对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题 (2) 和问题 (3) 中, 选择你认为程度最接近的数字。

情节 4(B)

B. 公共汽车行驶中, 你把包放在了座位旁边, 里面装有朋友寄在你这里的绝版 CD。突然感到头晕碰到了包, 包开了, CD 从包里掉出来, 外壳裂开了。(对朋友来说是贵重物品, 不可复原)

(1) 请对朋友就上述发生的情况过程, 进行自由描述和说明。

(2) 对于上述发生的情景, 你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感, 请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
没有责任	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	有责任

(3) 你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大, 请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
不能避免	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	可以避免

阅读下面的文章, 回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题 (1) 中, 对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题 (2) 和问题 (3) 中, 选择你认为程度最接近的数字。

情节 4(C)

C. 公共汽车行驶中, 你把包放在了座位旁边, 里面装有朋友寄在你这里的绝版 CD。车里十分拥挤, 准备下车的人碰到了包, 包开了, CD 从包里掉出来, 外壳裂开了。(对朋友来说是贵重物品, 不可复原)

(1) 请对朋友就上述发生的情况过程, 进行自由描述和说明。

(2) 对于上述发生的情景, 你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感, 请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
没有责任	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	有责任

(3) 你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大, 请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
不能避免	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	可以避免

阅读下面的文章, 回想状况。只有下划线部分和前一页不同。在问题 (1) 中, 对朋友就已发生的事情的情况进行自由描述和说明。接着在问题 (2) 和问题 (3) 中, 选择你认为程度最接近的数字。

情节 4(D)

D. 公共汽车行驶中, 你把包放在了座位旁边, 里面装有朋友寄在你这里的绝版 CD。汽车突然剧烈摇晃了一下, 包开了, CD 从包里掉出来, 外壳裂开了。(对朋友来说是贵重物品, 不可复原)

(1) 请对朋友就上述发生的情况过程, 进行自由描述和说明。

(2) 对于上述发生的情景, 你认为责任在自己吗。如果你感觉到了强烈的责任感, 请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
没有责任	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	有责任

(3) 你认为上述发生的事情是可以避免的吗。如果你觉得能避免的可能性很大, 请往数值高的方向选择。

	1	2	3	4	5	6	7	
不能避免	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	可以避免

十分感谢您的配合。对此问卷如有疑问请联系以下邮箱

Lin Xiaoming <gr0504iv@ed.ritsumei.ac.jp>